未来につなごう「お茶のまち静岡市」プロジェクト

～「世界中の誰もがあこがれるお茶のまち」を目指します～

寄附目標額　10,000千円

関連するＳＤＧｓのゴール

1. 事業概要について

本事業では、お茶に触れ、学ぶ機会を創出する**お茶の学校**（お茶を学ぶ市民向け講座）、**お茶の美味しい入れ方教室**（小学５・６年生への特別授業）、お茶の歴史・文化を顕彰する**聖一国師顕彰事業**（聖一国師の功績を称え、広報周知する事業）、静岡市のお茶の認知度向上及び販路拡大を図る**国内プロモーション事業**（静岡市お茶まつり等）などを通して、茶業の振興に取り組んでいきます。

2. セールスポイントと独自性

静岡市のお茶の歴史は、鎌倉時代の高僧「**聖一国師**」が中国から持ち帰ったお茶の種を市内にまいたことから始まり、江戸時代には**徳川家康公**が駿府城でお茶の風味を楽しんだと伝えられています。

先人が見出し、代々受け継がれてきた**静岡市のお茶の文化や歴史**を**未来を担う子どもたちや若い世代に継承**していくため、希望する全小学校に対して「お茶の美味しい入れ方教室」を実施し、子どもの頃からお茶に親しみ、楽しむ機会を提供するなどにより、**100年後の将来像**「***世界中の誰もがあこがれるお茶のまち***」を目指します。

3. 現状と課題

【現状】

静岡市は、山間地を中心に茶畑が広がる全国有数の**茶産地**であり、全国からお茶が集まる**集散地**。さらに、1世帯あたりの緑茶購入金額が全国１位の**消費地**です。

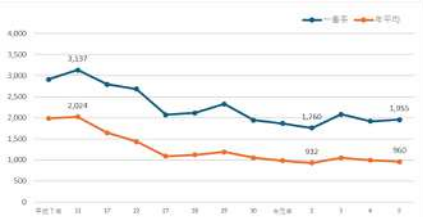
しかし、近年、茶価の低迷や若者のお茶離れ、生産者の高齢化、担い手の減少、茶産出額の減少等茶業を取り巻く環境は年々厳しさを増しています。

静岡市茶農家数と茶園面積の推移

【課題】

多様化する消費者ニーズへの対応や生産者の確保、特色あるお茶の魅力発信等により、**茶文化及び茶業の振興**を図る必要があります。

企業、茶業関係者、市民、行政の連携が不可欠



静岡県の荒茶価格の推移

富士山を望む茶畑（清水区）

4. ベネフィット

（１）寄付額10万円：感謝状の贈呈、市HPでの公表
（２）寄付額50万円：（１）に加えて、当課主催イベントでの企業パンフレット配布
（３）寄付額100万円以上：（２）に加えて、①感謝状贈呈式

メッセージ

静岡市のお茶は、昼夜の寒暖差が大きく、朝夕には川霧がかかる急峻な斜面で栽培されるため、品質が高い「山のお茶」です。

本市が誇る「山のお茶」を、「お茶の歴史」と共に次代に伝えていくため、「お茶を作る人」、「伝える人」、「楽しむ人」が交流・連携し、ニーズにあった新しいお茶の価値や魅力を創造していくことが重要です。

ぜひご支援とご協力をお願いします。

お茶を学ぶ市民向け講座

お茶啓発イベント

[担当：経済局農林水産部農業政策課　TEL054-354-2089]